

## 人的資本

関連するマテリアリティ  
人材マネジメント

# 高い信頼を支える 車両検査のプロフェッショナル

当社のオートオークションは、車両検査員が厳正な車両検査を行うことで、お客様の信頼を獲得しています。車両課に配属された社員は、当社独自の検査員資格制度に基づき1~4級の資格を取得することで、出品車両を正確に評価するための知識とスキルを身に付けていきます。こうした車のプロフェッショナルを育成する仕組みづくりにより、全国各地の会場において均質かつ高い精度の車両検査を行うことができ、公平・公正かつ利便性の高いオートオークションの実現につながっています。

車両検査員数(2023年3月31日時点)

248名 (全従業員の36.3%)

資本強化施策 → P.52

## 次世代が早い段階で活躍できるよう 車両検査員の早期育成をスタート

当社では、出品台数のさらなる増加に対応していくために、車両検査員の早期育成に関する取り組みをスタートしました。2023年度から、新入社員向けに短期間で集中的な研修を行っています。車両検査員として評価点をつけることができる「3級」の取得には、従来であれば約3年かかっていましたが、入社1年目での取得を目指しています。



## 社会関係資本

関連するマテリアリティ  
公平・公正な取引

# 年間1,000社が新たに入会し 日本全国に多数の会員を保有

当社は全国19か所に現車オークション会場を展開し、積極的な設備投資を行っています。さらに、当社の19会場と提携の6会場を衛星TVで結ぶサービスや、インターネットによるオークションも展開し、全国どこからでもオートオークションに参加できる仕組みを構築してきました。このようにオートオークションの利便性を徹底的に高める姿勢がお客様に評価され、毎年約1,000社の新規加入を獲得しています。今後も継続的な設備投資を行い、利便性の向上を図ることで会員数を拡大していきます。

現車会員数(2023年3月31日時点)

# 48,490社

資本強化施策 → P.33-34

## 会員にとっての利便性をさらに高めるために レーンを増設しオークション開催時間を短縮

当社会場への出品台数は増加傾向にあり、最も出品台数が多い東京会場ではオークションの開催が午前9時から夜間までと長時間にわたることもあります。働き方改革が進む昨今の社会情勢を踏まえ、会場のレーンを増設することで開催時間の短縮を図っていきます。2023年5月には、九州会場を4レーンから6レーンに増設しました。その他の会場も、順次進めていきます。





## 知的資本

関連するマテリアリティ  
情報管理

# 先進技術を積極的に導入し No.1のシェアを維持

当社は、創業当初から先進技術を積極的に導入し、インターネットオークションの仕組みを早くから整えてきました。昨今ではDX(デジタルトランスフォーメーション)を加速させており、出品票のデジタル化をはじめとして、さまざまな取り組みを進めています。こうしたIT投資をはじめとする着実な設備投資によって、当社の業界におけるシェアは着実に向上し、40%を超えるまでになっています。

市場シェア(2022年1～12月、出所:株式会社ユーストカー)

# 40.8%

資本強化施策 → P.16

## DXのさらなる加速を目指して オークションの基幹システムを刷新

2026年末までに、全会場の業務を標準化したうえで、オートオークションの基幹システムを刷新します。現状は、オフィスコンピュータをベースにした古いシステムですが、オープンシステムへと入れ替える予定です。これにより、従来は複数のインターフェースを介さなければできなかった出品票のデジタル化をスムーズに進められるようになるなど、DXのさらなる加速が期待できます。